

キリストの聖体、CORPUS CHRISTI

皆さん、今日は、「キリストの聖体、Corpus Christi」の大祝日を祝っています。この祭日の目的は、人類に対する神からの恵み、愛の結晶である「聖体の秘跡」について公に感謝することです。

聖体の秘跡に集約されるキリストの恵み、キリストの体をいただく、この恵みの深さは、生涯味わいつくすことができないでしょう。しかし、この日特にこれを覚えて記念するのです。

今日ご一緒に自問してほしい事があります。聖体拝領 (communion, comunione)はどのような意味ですか?日本語では[聖体拝領]と言いますが、英語ではCommunionと言い、イタリア語ではComunioneと言います。それは文字通り、**交わり、団結、ただ一緒に結合**することを意味します。実際には、一つになり、一つになることが教会の目標であり、それは私たちの**希望**です。

教皇フランシスコは「聖体拝領は希望をもって喜ぶようにしてください。希望があることで今幸せなのであり、単なる幸せへの希望ではありません。」とおっしゃっています。

それは、言い換えるなら聖体拝領は**分かち合うこと (sharing)**、**孤独から抜け出す**こと、閉ざされて自分本位になっている状態から抜け出すことを意味します。他人と連絡を取り合い、私たちが持っているものを共有することで、誰もが喜び、誰も苦まないようにし、家族のように感じ、お互いを愛していると感じることができます。

時々、私たちは心を開いたり、共有したりすることを恐れています。なぜなら、私たちは恐れと相互不信に満ちているからです。自分

自身を自給自足でき、他の人とは違うと思っているからです。私たちの家は閉ざされ、私たちの心は往々にして入り込めません。

そして、私たちは皆、優しさ、注意、連帯、受容ができなくなり、孤立してしまうこともあります。

皆さん今、ここで私たちは夕食、**宴会**をしています。これは喜び、友情、お祝いの宴会です。私たちは同じ食べ物を共有します。しかも、誰もこの宴会から除外されることはありません。これは主の**晩餐**です。全員に余裕がなければなりません。誰もが招待されていると感じる必要があります。分裂、差別、不正は克服されなければなりません。そして、イエスは私たちに重要なことを教えてくれます。人が他人のために**パンを壊す**ところまで、その人は真に人です。イエスは自分の**命を壊**しました。彼は自分のためにそれを保持せず、最後までそれを与えました。そして、彼は私たちに、彼のしたとおりにするように言いました。

